

# 令和3年度 総合教育会議 次第

日時：令和3年12月8日(水)

10:00～

場所：根室市役所 3階 大会議室

< 次 第 >

1 市長挨拶

2 学校現場からの取り組み報告及び意見交換

「根室市の子どもたちのための学び・育み

～光洋中学校の取り組みを通して～」

根室市立光洋中学校 校長 藤原秋彦氏

◎ピア・サポート学習 ◎いじめ防止プログラム ◎SDGs学習

◎防災学習 ◎職場体験学習

3 議事

(1) 新型コロナ禍での教育について

(2) 市教委各課の課題と将来に向けた取り組み

4 その他

5 閉会

## 令和3年度 総合教育会議 出席者名簿

日時：令和3年12月8日(水)

10:00～

場所：根室市役所 3階 大会議室

所 属	職 名	氏 名
根室市	市長	石垣 雅敏
根室市教育委員会	教育長	波岸 克泰
	委員(教育長職務代理者)	岩崎 園子
	委員	石垣 浩一【欠席】
	委員	魚谷 直世
	委員	兒玉 步
根室市立光洋中学校	校長	藤原 秋彦
事務局	教育部長	園田 達弥
	教育総務課長	藤澤 進司
	教育支援担当主幹	上原 哲朗
	学校教育指導室長	高野 智晴
	学校教育指導主幹	山谷 良雄
	社会教育課長	餅崎 幸寛
	社会体育課長	森本 崇起
	図書館館長	松崎 誉
	総務主査	飯島 美紀
	学校教育主査	川嶋 哲哉

日本ピア・サポート学会  
トップページ

ピア・サポートの理念

本学会の概要

Outline (English)

研修会情報

研究大会

海外研修

資格認定

研究紀要

ワークブック

推薦図書

推薦プログラム

入会について

事務局・委員会より

## ピア・サポートの理念

「ピア」とは仲間を意味しています。職場の同僚もピアです。「サポート」とは支援することを意味していますが、専門家によるサポートとは違い、仲間としてよりよくサポートする“仲間力”に基づいたものです。

### ピア・サポートとは

#### “ピア (Peer)”とは

「仲間」の意味。同学年だけでなく、同じ大学に所属する学生や同僚も“ピア”

#### “サポート (Support)”とは

「支援」の意味。「救援」(Rescue)とはちがう

#### “ピア・サポート”とは

仲間や同輩が相互に支え合い課題解決する活動



**安心・つながり・絆を生みだし、思いやりのある学校風土を創造する**

「誰もが成長する力を持っている」「誰もが、自分で解決していく力を持っている」「人は実際に人を支援する中で成長する」という考え方に基づいています。したがってサポートはいわゆる優秀な人材がするものであるというものではありません。また、いつも決まった者がサポートをされるものでもありません。誰もが他者をサポートできる存在であり、サポートを受ける存在であることを日本ピア・サポート学会では大切にしています。

### “ピア”の考え方

- 誰もが、成長する力を持っている。
- 誰もが、自分で解決していく力を持っている。
- 人は、実際に人を支援する中で成長する。

そして

- 誰もが他者をサポートできる存在であり、サポートを受ける存在である。



私たち日本ピア・サポート学会では、ピア・サポートを次のように定義しています。

### 日本ピア・サポート学会「ピア・サポートの定義」

#### 【 定 義 】

- 学生たちの対人関係能力や自己表現能力等、社会に生きる力がぎわめて不足している現状を改善するための学校教育活動の一環として、
- 教職員の指導・援助のもとに、
- 学生たち相互の人間関係を豊かにするための学習の場を各学校の実態に応じて設定し、
- そこで得た知識やスキル(技術)をもとに、仲間を思いやり、支える実践活動を、ピア・サポートと呼ぶ。

## 1 現状の課題とミッション

課題1 来年度の啓雲中学校との統合。

課題2 生徒のコミュニケーション意欲は高いがコミュニケーションスキルに課題がある。

課題3 授業における生徒のアウトプットの場が少なく、「教えたつもり」「わかったつもり」が多い。

(1) 多様性を認める親和的な風土を意図的につくっていく。(傾聴と対話を中心に)

(2) 集団の中で自由に発言しても不利益を被らないと感じられる心理的安心感をすべての生徒に保障

## 2 方針 すべての教育活動を「多様性を認める親和的な風土作り」という輪でつなぐ

### 学級経営・生徒指導で

「感じることは人それぞれ、違いがあるのは当たり前」を理解させた上で、感情をコントロールし、相手の意見にしっかり耳を傾け、理解をした上で自分の意見を伝えられる生徒を育てる。

- ① 「誰にでも言い分がある」ことを受け入れつつも、「いじめ」「差別」「暴力」という行為は絶対に許さない。
- ② 「悪意がなかったことであっても、受け止めた側が傷つき、そのことに気づかない」シンキングエラーが人間関係トラブルの本質であることを理解させた上で、「人がいやがることはしない、言わない」を貫く
- ③ 「好きな人同士」から脱却し、「誰とでも交流できる集団」を育てる。

### 「多様性を認める親和的な風土作り」「心理的安心感の保障」

#### 教科指導で

排他的・差別的な行動言動を見逃さず、「一人でも・誰とでも学ぶ」授業スタイルの構築

- ① 「書く(写すではない)」「話す」「発表する」「教える」アウトプットの場面の保障
- ② 個人・ペア・グループ多様な形態のアウトプット活動

#### 学活・総合・行事・部活動で

生徒に「まかせて」「させてみて」「ほめる」機会の創出

- ① チームでプロジェクトを進める機会を意図的に作る
- ② 「活動のやらせっぱなし」をせず、「計画の立て方」「議論の進め方」「活動のチェック・振り返り」のスキルを教える
- ③ 感情的にならず、対立を解決する方法を学ぶ機会とする

#### 道徳教育で

「多様な見方」「感じ方」「考え方」を知り、認めあう態度を育てる

- ① 人それぞれの見方、感じ方、考え方の違いを尊重する場面を作る
- ② 「理由があった」「そんなつもりはなかった」としても、「いじめ」を許さない指導

## 3 具体的方策 ～ピア・サポートの授業で身につけたスキルを学校生活に生かしていく～

(1) 年5回のピア・サポートの授業(誰とでもできる集団、多様性の理解、心理的安心感の醸成)

- ① 親和的な傾聴のスキル ② 親和的な話法のスキル ③ 親和的な質問のスキル
- ④ 親和的な話し合いスキルⅠ(正解のある課題) ⑤ 親和的な話し合いスキルⅡ(正解のない課題)

(2) 授業の中で発言しても不利益を被らないと感じられる心理的安心感を保障する

- ① 発言者を尊重した「聞く姿勢」の指導 ② 統一した授業スタイルで「学び合う」場面を保障

(3) 生徒会を中心とした仲間作り活動

- ① 誰とでも話したり、遊んだりできる集団作り ② 委員会活動での話し合い活動の充実

(4) 教員自らが、「傾聴」と「対話」を大切にし、生徒が「先生は自分の味方だ」と実感させる

## I ピア・サポート学習が目指すこと

「聞き手・話し手などの役割を決め、実際にやりとりをする」体験を通して、より親和的な人間関係を構築するためのコミュニケーションスキルを身に付けさせる。特に「傾聴と対話」を重視し、「相手の気持ちを理解する」「理解したことを具体的な行動として表せるスキル」を学習すると共に、学んだことを生かして温かな雰囲気を作り、普段の授業や生活に活用できるようにする。また、学習したコミュニケーションスキルを教科の「話し合い活動」の充実につなげる

### 【一つ一つの授業の流れ】

#### 1. アイスブレイク（ミニゲーム）

・緊張をほぐし、ロールプレイをしやすい雰囲気を作る



活動的なプログラムを用意。  
「じゃんけんゲーム」など様々な活動

#### 2. 見本提示

・教員がモデルを示し、具体的な行動を指導



社会で使えるコミュニケーションスキルを学ぶ活動

#### 3. エクササイズ

・教師の示したモデルに沿って、ペア活動・グループ活動



具体的な行動を練習する活動。  
「傾聴と対話」をベースに、聞き手・話し手して両方の立場を体験する

#### 4. シェアリング

・エクササイズをしてみてどんな気持ちになったかを共有



「気持ちが温かくなった」を共有し、生活に生かす糧に

## II カリキュラムの基本方針について

### 1 実施時数等

学年	授業時数	指導者	学習内容
1年	年間5時間	学年団 (指導は全教員で行う)	1年「傾聴」「説明」「質問」「話し合い」
2年			2年「多様性理解」「感情」「相談」
3年			3年「会話」「問題解決」

### 2 具体的な学習内容（各学年年間5時間）

1年	2年	3年
<p>①積極的な話の聞き方 相手が話をしやすいような「話の聞き方」を練習します。</p> <p>②話が伝わるかな 相手が内容を理解しやすいような「話し方」を練習します。</p> <p>③うまく質問できるかな わからない内容を質問したり、的確に答える練習をします。</p> <p>④理想の教室配置 説明と質問だけで、教室配置の図面を完成させる活動を通して、「答えがあるテーマ」について話し合う練習をします。</p> <p>⑤砂漠の救助 砂漠に持参するものをグループで決める活動を通して、「答えのないテーマ」について話し合う練習をします。</p>	<p>①サポートって何だろう アイマスク介助体験を通して相手に寄り添ったサポートを考えます。</p> <p>②大切なものランキング 大切なものの順位を交流することで価値観の違いを学習します。</p> <p>③怒りの温度計 傷ついたり怒りが起こることの順位を交流することで、価値観の違いを学習します。</p> <p>④温かい言葉かけ 様々な種類のリアクションを体験し、相手の気持ちに寄り添った言葉がけを考え、練習します。</p> <p>⑤紙面相談 模擬悩み相談を通して、様々なアドバイスを交流し、相手の気持ちに寄り添った言葉がけを考え、練習します。</p>	<p>①5W1H 会話が盛り上がる方法を実践することで、相手の話を引き出す練習をします。</p> <p>②リフレーミング 相手を感じてるマイナス面をプラスに言い換えてもらう体験を通して、良いところを見つける練習をします。</p> <p>③プラスのストローク 自分の良いところを周囲から認められる体験を通して、承認しあうことの大切さを学習します。</p> <p>④一文表現 限られた言葉から言葉の裏にある感情を読み取る練習をします。</p> <p>⑤問題解決5つのステップ 困難な問題を解決するための方法を考え、練習します。</p>

## 1. 「いじめ防止プログラム」が目指すこと

いじめは、被害者のみならず、加害者、傍観者にも、成人後まで心身の健康や社会適応などに関する影響を与えます。いじめは発生してから解決するのではなく、生徒が「問題解決の手法」としていじめを選択しないように、いじめ被害者を孤立させないように積極的に教育すべきことであると学校はとらえます。

また、いじめが起きにくい集団の特徴として、各種研究から「学校風土の良さ」「子どものコミュニケーションスキル（例えば、問題解決スキル、感情コントロールスキル）の高さ」があげられています。いじめ防止プログラムは、全校で計画的に授業を実施し、いじめ予防に必要なスキルを学習するものです。

【一つ一つの授業の流れ】

### 1. シナリオを分析する

①自分の行為が相手に苦痛を与えていることに気づかない・攻撃しているつもりはないが結果として苦痛を与えている、といった「シンキングエラー」のあるいじめ事例を提示します。

②力の不均衡・不公平な影響といった「アンバランスパワー」のあるいじめ事例を提示します

③被害者がかわいそうと思うが報復が怖くて行動できない・注意したらさらに事態が悪化する、といった「傍観者・被害者の沈黙」があるいじめ事例を提示します

これらの事例を様々な角度から考えます。

### 2. 正しい知識とスキルの提供

法律では「つもりがあろうとなかろうと、行為があつて被害者が苦痛を感じていれば、いじめである」と定義されているという共通認識にたち、「シンキングエラー」「アンバランスパワー」「傍観者・被害者の沈黙」があるといじめは深刻化することを理解させます。

### 3. これまでの自分の行動を振り返る

シナリオのようなケースがあったとき、自分ならどうしていたかを「シンキングエラー」「アンバランスパワー」「被害者・傍観者の沈黙」の視点から考えます。

### 4. これからの自分の行動を考える

今後シナリオのようなケースがあったとき、自分はどの行動するかを考え、宣言します。

## 2. 具体的な学習内容

時数	学習活動	指導内容
1	<p>「シンキングエラーを正す」</p> <p>①シナリオ登場人物である A と B の気持ちについて考え話し合う。</p> <p>②いじめについての正しい知識を得る。</p> <p>③自分が持っているシンキングエラーについて気づき、どう直すか考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●いじめ防止対策推進法では、「相手が傷つくことはいじめ」であると定義されている。</li> <li>●どんな事情があつても、いじめが許される理由にはならない。</li> <li>●「アンバランスパワー」と「シンキングエラー」があると、いじめはどんどん深刻化すること。</li> </ul>
2	<p>「行動を起こす」</p> <p>①シナリオの登場人物の気持ちについて考え、いじめられたときどのように行動すべきか、考え話し合う。</p> <p>②いじめに遭ったときの行動について知る。</p> <p>③学んだ知識をもとに、今後の行動について考え、共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アンバランスパワーとシンキングエラーがあると、深刻化することを復習する。</li> <li>●すぐにやるべきこと（安全が優先だが）は、「苦痛であると伝える」「その場から離れる」「たすけを求めること（大人に報告すること）」</li> <li>●傍観者も、被害者の代わりに同様の行動を取ることができる。</li> </ul>
3	<p>「集団を変える」</p> <p>①シナリオの登場人物の気持ちについて考え、いじめに気づいたときどのように行動すべきか、考え話し合う。</p> <p>②いじめに気づいたときの行動について知る。</p> <p>③学んだ知識をもとに、今後の行動について考える。</p> <p>④いじめが起きにくい集団になるために、一人一人ができることを行動宣言する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●様々な調査で 90%以上の生徒がいじめを不快に感じており、いじめ(いじめになりそうな行為)を止めたいと感じていることがわかっている。</li> <li>●様々な調査結果で、いじめ(いじめになりそうな行為)を止める存在があることで、ほとんどのいじめは止まるということがわかっている。</li> <li>●HERO 行動→Help：助ける、助けを求める Empathy：共感する Respect：相手を尊重し、大切に する Open mind：広い心を持ち孤立させない。</li> </ul>

## 総合的な学習 (SDGs 学習) について

### I SDGs 学習が目指すこと

根室市から世界に至るまでの様々な課題を自分事として受け止め、より良い社会の実現を探求する  
 →根室市内の人的資源・教育的資源を生かすと共に、学びを地域に発信し、地域に開かれた教育課程を実現  
 →ピアサポートで学習したコミュニケーション能力や各教科での学びを生かし、課題探求能力を育成  
 一情報教育端末を活用し、情報活用能力を育成

#### 1 根室学Ⅰ (根室市の資源を知る) 【1年】

根室市の自然・環境・産業・環境について探求学習を行い、根室市のすばらしさを発見し、発信することを目指す。

市総合政策室・漁協他、各種団体の出前講座の実施

#### 2 根室学Ⅱ (根室市の福祉とまちづくりを考える) 【2年】

根室市の福祉(手話・障害者福祉・老人福祉)について探求学習を行い、根室市における共生社会の実現を考え、発信することを目指す。

社会福祉協議会・手話サークル他各種団体の出前講座、老人福祉施設との連携

#### 3 根室学Ⅲ (根室市の未来を考える) 【3年】

根室市の課題(持続可能な社会の実現、少子化・子育て問題)について探求学習を行い、根室市の未来について考え、発信することを目指す

市未来のまちづくりプロジェクト、保育園・子育てサークルとの連携

### II カリキュラムの基本方針について

#### 1 実施時数等

学年	授業時数	指導者	学習内容
1年	年間 28 時間	学年団+地域協働本部 +外部講師 (指導は学年団まかせにせず、全教員が協力)	外部講師講話 課題把握 課題追求 地域発信 ※地域発信は文化祭の教室展示をメインとする。 ※1年は現地調査 2年は福祉体験・老人施設訪問 3年は都市部調査・保育体験を行う。
2年	年間 40 時間		
3年	年間 40 時間		

※ 地域発信は各教室を用いて様々な形式での展示(プレゼン)を行う。準備時間として各学年 18 時間確保する

※各学年で「北方原生花園」「北太平洋シーサイドライン」等の現地調査を行う。

#### 2 評価

【知識・技能】 知識や技能を組み合わせ、関連性や概念を理解する力

【思考・判断・表現】 「課題」を発見し、解決に向けて情報を収集・発信する力

傾聴・対話を通じて知識を選択・比較・統合し、課題解決に生かす力

【主体的な態度】 傾聴・対話を通じて考えを整理し、磨き上げる力

課題解決に向けて粘り強く取り組む力

学習事項や課題をまとめ、生かしたり振り返る力

生徒の作成した資料を蓄積し、以上の観点から生徒の良さを見だし、文章で評価する。

### III 実施に向けて準備すること

何を	いつまでに	誰が
1 昨年度実施した「調べ学習」「根室学」の資料整理 (昨年度学年フォルダ)	4 月中	今年度学年担当・旧学年担当
2 外部協力団体の選定・依頼	4 月中	学年担当→主幹→校長→地域協働本部
3 指導計画の作成・資料準備	5 月中旬まで	学年担当・教務担当
4 外部協力団体との打ち合わせ	5 月中	学年担当
5 SDGs 学習の実施 (input/調査/蓄積)	5 月～9 月	学年団
6 地域公開準備(旧 文化祭日課)	9 月下旬から	学年団+全教員
7 地域公開(クラス展示) 18 時間	10 月 9 日	
8 学習のまとめ・必要書類の整理・保存	実施後すぐ	学年担当 (次年度引き継げるようにデータ保存)

## 光洋中防災学習実施案 (R3.9.21.ver.2)

### 1. ねらい

根室沖で想定されるマグニチュード7.8から8.5程度の巨大地震も、今後30年以内の発生確率がこれまでの「70%程度」から「80%程度」に引き上げられました。このような災害が発生した場合、光洋中学校においても避難所が設置される可能性が高くなりますが、その際に主導となる市役所や学校、それを支援する地域住民はどのような役割を持ち、活動すべきかを実際には把握できていない部分が多くあります。この避難所開設訓練では、市役所・学校・地域住民が協力し実際に避難所を設置することで、どのような役割分担が必要なのか、必要資材等の把握に努め、地域連携強化と対応力の強化を目的として実施致します。

### 2. 日時

令和3年11月6日(土)午前中(雨天決行) ※11月8日(月)振替休業

### 3. 場所

根室市立光洋中学校

### 4. 参加対象

光洋中学校生徒・教職員・保護者、地域住民、消防署員、根室市役所防災担当者

### 5. 主催団体

主催：根室市立光洋中学校区地域学校協働本部

共催：根室市役所防災担当、根室市立光洋中学校

協力：根室市消防本部、光洋町町会、(明治町町会)、(自衛隊)

### 6. 想定

大規模地震および津波による建造物の倒壊に伴い、光洋中で避難所を開設する必要が生じたという想定で訓練を行う

### 7. 学習内容の概要

- ・中学生対象の事前学習(避難所ハグ)
- ・光洋中学校における避難所開設に関わる各種体験学習

### 8. 今後のスケジュール

- ・9月17日…第1回実行委員会(原案と役割分担の決定)
- ・10月14日…第2回実行委員会(各分担業務の進捗状況の確認、事前学習の確認)
- ・10月29日…教職員対象事前研修(市防災担当講師)
- ・11月2日…光洋中学生対象の事前学習
- ・11月4日…第3回実行委員会(直前準備、最終確認)
- ・11月6日…防災学習実施

### 9. 役割分担

- ・地域学校協働本部：企画立案、全体統括、町会等との連絡調整
- ・市役所防災担当：企画協力、消防・自衛隊との連絡調整、各種活動の研修および実施指導
- ・光洋中学校：企画協力、PTA・保護者への協力依頼、生徒への指導全般

### 10. 実施にあたって

- ・実行委員会は地域学校協働本部代表、光洋中管理職と防災学習担当、市役所防災担当で構成。議題によってPTA代表や町会担当者、消防署担当者、自衛隊担当者にも参加を要請する。
- ・避難所開設に伴う段ボールベッド等の設営指導や避難所ハグの指導については、当日の指導者の人数を十分に確保する必要があるため、教職員やPTA役員、保護者や地域住民に事前研修を行い、生徒への指導に当たってもらう可能性もある。



## 11. 実施細案

### <事前学習について>

#### (1) 実施内容

##### ①講義「地震や津波の被害、避難所開設の意義について」

- ・時期：11月2日（火） 4時間目
- ・対象：全校生徒
- ・場所：体育館
- ・講師：市役所防災担当

##### ②演習「避難所ハグ」～避難所開設の机上訓練

- ・時期：11月2日（火） 5、6時間目
- ・対象：全校生徒（5～7人の縦割で60班程度を編成）
- ・場所：普通教室、学習室など（一教室に4～5班）
- ・指導：光洋中教員（一教室に2名程度配置）
- ・光洋中教員対象の事前指導を10月29日（金）に実施する。

#### (2) 留意事項等

- ・避難所開設訓練当日に向けて、生徒がその意義や中学生に期待されていることを認識し、やりがいをもって訓練にあたるような事前学習となることを目指す。
- ・演習「避難所ハグ」については、教員のみで指導にあたるよう、市役所防災担当から事前指導を受ける。
- ・縦割班の中で、3年生がリーダーシップを発揮できるよう3年生のみを対象とした事前指導を11月4日（木）に実施する。（段ボールベッドの組み立てなど）
- ・教職員事前研修を適宜行う。

### <避難所開設訓練について>

#### (1) 実施内容

##### ①生徒の活動

###### (1年生)

- ・活動内容：①非常食体験（ハイゼックス炊飯袋）、②救急手当法、③備蓄品チェックラリー
- ・場所：調理室、視聴覚室、備蓄品の収蔵庫など
- ・講師：市役所防災担当、消防署員
- ・3班でローテーションして全ての活動を体験する。

###### (2・3年生)

- ・活動内容：①避難所設営（段ボールベッド、間仕切りの設置）、②リアルハグ、③自衛隊員による非常時対応講習（③は現在調整中）
- ・場所：体育館、玄関、廊下・普通教室など
- ・講師：市役所防災担当、自衛隊員
- ・5人程度の縦割班を45班。
- ・3班でローテーションして全ての活動を体験する。
- ・リアルハグは、「受付補助・誘導グループ」と「避難者役グループ」に分かれる。途中で役割交代も入れて両方を体験する。

##### ②教員の活動

- ・各所属学年の生徒の指導・支援。
- ・非常食体験、段ボールベッドと間仕切りの設置指導については、市役所防災担当から事前指導をしてもらう。（避難所ハグ研修の際に）

- ③地域住民・保護者の活動（感染状況を見ながら参加の可否を判断）  
 ・避難者として訓練に参加してもらう他、生徒の活動を見学してもらう。

(2) 留意事項等

- ・2年生は、次年度3年生として下級生を指導する立場になることを意識させる。
- ・地域住民・保護者については、感染状況を見ながら参加の可否を判断する。保護者についてはPTA役員のみに参加をお願いする場合もありうる。ただ来年度以降については、状況が許すようであれば広く参加を募り各種体験活動にも参加をお願いしていく。

12. 当日までの準備細案

	地域学校 協働本部	光洋中学校	市役所 防災担当	消防署	町会等 地域住民
9月17日(金)	第1回実行委員会				
10月8日頃まで	・町会に協力依頼 ・第2回実行委員会準備	・生徒の活動細案作成 ・PTAに協力依頼	・消防署等に協力依頼	・協力検討	・参加検討
10月14日(木)	第2回実行委員会				
	・実施細案提示				
10月29日(金)		・教員向け研修実施	・教員向け研修協力		
11月2日(火)		・生徒事前学習実施	・事前学習協力		
11月4日(木)	第3回実行委員会				
	・最終案提示	・3年生事前学習			
11月6日(土)	避難所開設訓練				

## 令和4年度 根室市中学生職場体験学習実施要項

### 1. ねらい

根室市でもU・Iターン支援事業を行っていますが、他の地域に進学、就職する子供達のそのほとんどは戻っては来ません。戻ってこない理由の一つに必ずあげられるのが「魅力がない」という言葉です。しかし、大人になってから感じる根室は非常に魅力あふれる街であり、その魅力を十分に子供達に伝える努力を我々地域に住む大人はしなければなりません。職場体験学習は我々が感じる根室の魅力を直接知ってもらいいい機会となります。様々な職場を知ってもらい、地域の魅力を感じる、そのような職場体験学習を実現するため実行委員会を組織します。

### 2. 職場体験学習参加対象生徒

- ・根室市立光洋中学校と根室市立柏陵中学校の第2学年生徒全員

### 3. 実行委員会構成団体

- ・職場体験実行委員会事務局
- ・根室市立光洋中学校
- ・根室市立柏陵中学校
- ・根室西ロータリークラブ
- ・根室ロータリークラブ
- ・中小企業家同友会
- ・根室市教育委員会

※オブザーバー参加：北海道根室高等学校 ※協力団体：創陽クラブ、ライオンズクラブ

### 4. 実行委員会役職

- ・委員長：早川 元（マルコシ・シーガル）…委員会の招集、全体統括
- ・副委員長：柏陵中学校校長…委員長補佐
- ・事務局長：光洋中学校校長…実行委員会の企画・運営
- ・事務局次長：魚谷 直世（ナオエー石油）…事務局長の補佐（校長の異動の際にも例年の流れなどを継承する）
- ・実行委員…各校より担当教員1名ずつ、各地域団体より担当者1名ずつ、市教委より1名

### 5. 役割分担

- ・実行委員会事務局…実行委員会の企画運営、年間スケジュールの策定と管理、委員の役割分担、職場体験学習に関わる全体計画の策定と進行管理、事業総括（反省の取りまとめ）
- ・中学校（光洋中・柏陵中）…生徒の訪問先希望集約、生徒訪問先の割り振り、事前学習と事後学習の企画・運営、生徒への事後アンケート配布と回収
- ・地域団体（根室西ロータリークラブ・根室ロータリークラブ・中小企業家同友会）…職場体験協力事業所の斡旋と集約、事前学習への協力、事業所への事前説明の実施、訪問生徒の事前周知と正式依頼、協力事業所への事後アンケート配布と回収
- ・根室市教育委員会…職場体験協力団体（公的機関）の斡旋と集約、事前学習への協力、団体への事前説明の実施、訪問生徒の事前周知と正式依頼、協力団体への事後アンケート配布と回収

### 6. 大まかなスケジュール

- ・5月…第1回実行委員会（今年度の実施計画案の検討）
- ・7月…第2回実行委員会（生徒の希望状況と必要業種事業所の確定、事前学習の確認）
- ・7月～9月…協力事業所と生徒の訪問先調整作業
- ・10月…第3回実行委員会（訪問先の確定、直前準備の確認）
- ・11月…職場体験学習実施
- ・12月…第4回実行委員会（反省と次年度に向けた改善点の検討）

7. 各組織の大まかな動き

	実行委員会事務局	中学校	地域団体・市教育委員会
5月中旬以降	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施計画案作成</li> <li>・第1回実行委員会開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員選定</li> <li>・実行委員会参加</li> <li>・各組織の活動計画策定</li> </ul>	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各組織の活動状況の進行管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習の計画(地元再発見フェアの活用も視野に)</li> <li>・生徒の希望訪問先集約</li> </ul>	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回実行委員会</li> <li>・確定した協力事業所等を中学校へ提示</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所への協力依頼</li> <li>・協力事業所の確定と事務局への報告</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習への協力</li> <li>・確定した生徒割り振りを地域団体へ提示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習実施(地元再発見フェアの活用も視野に)</li> <li>・各事業所等への生徒の割り振り確定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習への協力</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問先の確定</li> <li>・第3回実行委員会開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習実施(事業所等訪問時の心構えなど)</li> <li>・当日必要な持ち物や訪問時間などの事業所等への確認(必要に応じて教員から事業所に個別の連絡)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所へ訪問生徒の報告</li> <li>・協力事業所等への事前説明の実施(職場体験学習の意義や当日留意いただきたいことなど)</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒用と事業所等用のアンケート作成</li> <li>・最終確認</li> <li>○職場体験学習実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直前の生徒への指導</li> <li>・欠席者等の事業所等への連絡</li> <li>・事後学習の企画・運営</li> <li>・アンケートの実施と回収</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直前の事業等との連絡調整</li> <li>・アンケートの実施と回収</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの集約</li> <li>・第4回実行委員会開催</li> <li>・次年度に向けた改善点等の整理と引継</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度に向けた各組織の改善点等の整理と引継</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度に向けた各組織の改善点等の整理と引継</li> </ul>

8. 留意事項等

- ・協力事業所確定までの流れ

①各中学校で生徒の希望を調査(根室市で体験可能な業種をリストとして提示し、第3希望程度まで選択できるようにする)

②生徒の希望に基づいて、必要な業種や事業所数を算定する。

③協力事業所の必要数を確定し、地域団体、市教委で依頼先を分担する。

④各地域団体、市教委で、受け入れ可能な事業所を確定。生徒の訪問先を確定する。

・創陽クラブ、ライオンズクラブについては、実行委員会への参加は求めない。両クラブに対して、地域団体に所属する実行委員から事業所斡旋等への協力をお願いすることがあるので、第1回目の実行委員会の前に、協力に関する依頼をしておくこと。(創陽クラブは商工会議所：野田専務、ライオンズクラブは事務局 27-7027)

・根室高校について。本実行委員会の活動が軌道に乗った際には、高校のインターンシップ事業についても取扱いを検討していきたい。当面はオブザーバー参加。

・実行委員会の会議はなるべく夜に設定すること。

### 3 議事

#### (1) 新型コロナ禍での教育について

##### ① iPad の貸し出しについて (R2.12.7 「iPad 等家庭活用ガイドライン」策定)

市教委では、令和2年度に市立学校児童・生徒への一人一台端末 (iPad) の配備を完了しています。この iPad については、原則校外への持ち出しを禁止していますが、下記理由により本人及び保護者から学校を通じて申請があった場合にのみ貸し出すこととして、学校による iPad を活用した遠隔授業を受けられる環境づくりに努めています。

##### 【理由】

- ・市外での大会参加後に自宅待機を余儀なくされた児童・生徒(まん延防止等重点措置期間中など)
- ・家族の感染等により自宅待機を余儀なくされた児童・生徒
- ・スポーツ等の長期遠征に参加する児童・生徒
- ・不登校の児童・生徒
- ・長期欠席(不登校以外)児童・生徒 【令和3年11月末現在の貸し出し実績 12台】

##### ② 学校の環境整備について

「学校保健特別対策事業」720万円を活用し、全ての市立学校にレバー水栓を導入したほか、各学校の裁量で感染対策に必要な消耗品、備品等を整備しています。

【具体例：消毒液、給食配膳用手袋、体温計、マスク、網戸、加湿空気清浄機、サーマルカメラ、扇風機 他】

##### ③ 児童・生徒向け動画「あっとほーむねむろ」の制作及び配信

市教委の若手職員7名で構成する TEAM NEMURO educ. WG (チーム ネムロ エデュケーション ワーキンググループ) が、おうち時間が長くなった根室の子どもたちのために、学ぶ機会の創出や郷土愛を育むことを目的として、会議を重ねながら動画づくりに励んでいます。「根室市クイズをやってみよう」などこれまで26本の動画を制作・公開しています。

##### ④ オンライン習得、オン・オフライン併用の成人学校開設及び各種 YouTube 配信

公民館では、zoom の使用方法習得など市民のオンライン学習や交流のきっかけづくりとしてもらうための「おちゃのこさいさいオンライン」を開催【29名受講】

成人学校では、「ヨガ講座」など一つの講座をオンラインとオフラインのどちらでも受講できる環境を整えて募集しているほか、シェフ直伝の肉料理やお天気講座などの「おうち講座」も充実しています。

さらには、「あなたの趣味や特技を伝える講座～押し花～」や「令和3年 あなたの一文字なんですか展」など、公民館講座の様子や市民の発表機会を YouTube で配信、自宅でも学び・楽しめる情報発信に努めています。

みんな  
み  
もう観た？

# 根室市教育委員会

スタート  
根室市教育委員会  
Presents



## あっとほーむねむろ

みなさんは、「あっとほーむねむろ」を知っていますか？

「あっとほーむねむろ」とは、ねむろのこどもたちにむけた **YouTube** です。

ひとりで見ても、お友達や家族と見ても楽しめる、そして、**学べる**動画がたくさん！

さあ、みんなはどの動画が**一番好き**？



コロナについて考えよう！



ここから動画が  
見られるよ！



超簡単ストレッチ



なんで地震・津波は起こるの？  
津波編



思いをつたえる手話言語



根室でみつかったこれなんだ



サケがつなぐ海と森



オオワシ折り紙に挑戦！



根室市クイズを  
やってみよう！



学芸員と一緒に  
ビーチコーミング(貝編)



Let's English 1



他にもいろいろな動画があるので、ぜひチェックしてね!!!



カラフトルリシジミを知っているかい？

カラフトルリシジミが教えてくれる根室の不思議

楽しくおりがみを折りながら、根室のことをもっと知ろう！

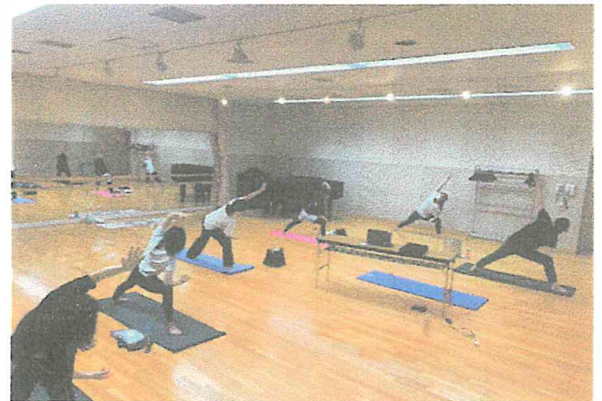
カラフトルリシジミ

を知っているかい？



令和3年度 根室市成人学校「ヨガ講座(オンライン・オフラインの併用による)」

【受講者オンライン1名、  
オフライン5名(定員)】



令和3年 あなたの一字なんですか展【出品点数115点】

展示とオンラインの併用による鑑賞機会の提供



この今のコロナ禍に希望を持ちます

昨年6月に誕生した和紙の名刺「悠」の「悠」。最近送迎りかてきたおしに合った動きが送られてきたので、掛が送迎りている様を表現しました。また、「悠」の「悠」は僕の意味があるとのこと。コロナが流行され「悠」はくりの人が心穏やかに、マスクを外し、笑顔の顔をハフてくる日が来ることを願いますから...

二年間お世話に合ったすべての人に感謝の気持ちと謝意の気持ちを込めた

### 3 議事

#### (2) 市教委各課の課題と将来に向けた取り組み

##### ◆学校施設の耐震化【教育総務課】

###### ① 落石中学校耐震化・小中併置校化事業

###### 【経過】

現在、市内の小中学校の校舎及び屋体で耐震化の完了していない学校は、花咲小学校と落石中学校の2校となっております。このうち、花咲小学校は、現在、旧啓雲中学校校舎を花咲小学校として使用するための改修工事を実施しており、来年4月から花咲小学校として使用開始することとしており、耐震化の完了していない校舎のある学校は落石中学校のみとなります。

###### 【事業目的】

落石中学校校舎のうち教室棟はブロック造2階建795㎡で、建築の専門家である釧路工業高等専門学校の教授に依頼し、教室棟の耐震性は無い旨の判定を受けたところであり、早急な耐震化を図る必要があります。

また、落石地区の児童生徒の推計では、現在地での校舎改築よりも、小学校敷地に改築し「小中併置校化」を行うことで、保小中と一貫して落石地区で将来を支える人材を育む教育を進めていくことが可能となる他、養護教諭などの教員の安定確保のメリットもあります。

###### 【今後の方向性】

- 令和4年度予算に耐震改修に向けた設計委託料を予算要求予定
- 令和5年度以降も予算確保に向けた取り組みを進め、早期の小中学校併置校化を目指します



## ② 学校体育館吊物耐震化事業

### 【経過】

国では、地震災害発生時に体育館の吊天井や照明器具、バスケットゴールなどの落下が発生する事例が多いことから、校舎の耐震化とともに学校体育館などの吊物落下防止対策を強く求めており、当市は体育館の吊天井はないものの、歯舞学園、厚床小中学校を除き、バスケットゴールや体育館照明の落下防止対策が必要となっている。

### 【事業目的】

バスケットゴールや照明器具の落下防止を図ることにより、大地震の発生時に、これら吊物の落下による事故から、児童生徒の安全を確保するため落下防止の措置を早急に行う必要があります。

### 【今後の方向性】

#### ・バスケットゴールの落下防止

令和4年度予算要求予定 北斗小、花咲港小、成央小、光洋中、  
海星小中、柏陵中 6校

#### ・屋体照明の落下防止

令和4年度予算要求予定 北斗小、花咲港小、成央小、光洋中、  
海星小中、柏陵中

## ◆歯舞湿原の保存活用事業【歴史と自然の資料館】

### 【概要】

一般的に湿原は、川の周辺やくぼんだ場所に水がたまり形成されますが、歯舞湿原は根室半島東部の歯舞台地上に形成された、夏に霧が発生する根室独特の気候により成立し、1 万年以上の古い歴史を持ちます。湖沼や窪地など水がたまる場所を必要とせずに成立した泥炭地のブランケット型泥炭地で、日本で唯一かつ希少な、低い標高に成立した、地史、地学的にも重要な場所です。また、環境省が指定する『日本の重要湿地500』にも根室半島湿原群の一つとして選定され、多くの希少な植物が生育する生物多様性保全においても重要な場所であり、根室が誇るべき自然景観であります。

### 【現状】

落石地区や温根沼、風蓮湖周辺の湿原などは、道立自然公園、国有林内などにあり、開発等から保全されている一方、歯舞湿原は一部市有地を除き民有地でありその保護の枠組みから外れています。

### 【課題】

風力や太陽光を利用した再生エネルギー発電施設は、地球温暖化の要因とされるCO<sub>2</sub>の削減から推奨する事業ではありますが、歯舞湿原を構成する重要地については、再生エネルギー施設等の設置などの開発行為は、学術的にも重要かつ、多くの希少生物が生息し根室の自然景観を特徴づける歯舞湿原の消失に繋がる恐れがありますことから、保全・保護の措置を行うことが急務となっています。

### 【今後の方向性】

このようなことから、根室市が誇る、希少かつ特異的な自然環境・景観である歯舞湿原を市の天然記念物に指定し、保全を図りたいと考えており、

その為、土地所有者と協議し、土地の取得あるいは、同意を得て指定範囲を確定するとともに、湿原を専門とする大学教授や、植物を専門とする学芸員などを主要メンバーに『歯舞湿原の市天然記念物指定と保存活用』について協議する検討会を立ち上げ、その計画策定に向けた準備を進めたいと考えています。

## ◆ふるさとの作曲家飯田三郎資料展示室の移転・生誕百十年記念事業

【総合文化会館】

### 【経過】

根室市出身の作曲家として数々の名曲を創作し、郷土根室の文化振興に多大な貢献をされました「故 飯田三郎先生」は“北国讃歌”“大いなる海”など郷土根室の曲を創られ、また、根室市総合文化会館落成記念として、北国からの交響的序曲「21世紀へのメッセージ」を創作 寄贈され、その初演に際し、参加する市民への指導にも積極的に当られるなど、根室市民との関わりも深いことから、この功績を讃え、寄贈いただきました資料を保管・管理する展示室を設置し、広く市民などに公開し、飯田三郎氏の人となりと業績を知ってもらうことを目的として、平成9年3月23日に図書館2階に「飯田三郎資料展示室」を開設しました。

この展示室につきましては、文化会館での開設を要望するご意見もありましたことから、教育委員会や関係部署と協議し、飯田三郎資料展示室を現在の図書館から文化会館の旧喫茶スペースへの移設に向けて（令和4年11月までに完成予定）、現在、実施設計を進めています。

### 【今後の方向性】

この新しい資料室のオープニングセレモニーの企画と併せて、令和4年12月は、先生の生誕110年にあたりますことから、先生を偲ぶとともに先生の歌を後世に歌い継ぐため、「ふるさとの作曲家飯田三郎生誕百十年記念事業」の開催に向け、実行委員会を組織し、多くの市民皆様に来場して頂けるよう、「ここに幸あり」の歌手大津美子さんのコンサートや、関係者による演奏、コーラスなどを行いたいと考えております。

## ◆総合運動公園スケートリンク大規模改修【社会体育課】

### 【経過】

市内小中学校でのスケートリンクの造成や維持管理が難しくなり、現在、ほとんどの学校が総合運動公園スケートリンクをスケートに授業に使用しています。

また、総合運動公園スケートリンクは、市民がウィンタースポーツに親しめる市内唯一の施設でもあります。

このスケートリンクは、平成8年1月のオープン以来25年が経過しており、老朽化が著しいため、滑走面のクラック補修等、大規模改修が必要となっています。

### 【事業目的】

大規模改修により、施設の長寿命化とスポーツ環境整備を図り、市民をはじめ子どもたちのウィンタースポーツの普及・振興、さらには当市のスポーツ・健康都市宣言に掲げた「市民1人1スポーツ」の実現を目指す上においても必要となる施設の長寿命化を図ります。

### 【今後の方向性】

滑走面の舗装の不陸調整・かさ上げ、夜間照明塔のLED化、さらには、防風柵の取り替え、リンクハウスの修繕など、大規模改修となることから、民間の支援制度も視野に入れた財源確保に取り組んでまいります。

## ◆ねむろっこ図書館フェスティバル開催事業【図書館】

### 【経過】

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、学校をはじめ社会教育施設での様々な活動が、制限を受けた形での開催となり、新しい生活様式の中で取り組まれている状況にあります。

図書館においても協力団体や支援団体が主催する行事も制限を受け、開催の見直しや中止となっている状況で、改めて対策を講じた中で「子どもたちが読書の楽しさ」や「学習の喜び」を持つきっかけとなる事業を企画・開催してまいります。

### 【事業目的】

夏休み期間中に「ねむろっこ図書館フェスティバル」として、本に関する「ヒーローショー」の実施、物語のペープサートづくり、絵本の修理方法などの体験、ぬり絵コンテストなどを行うことで、子どもたちが読書の楽しさや本とのふれあいの大切さを理解でき、併せて保護者も参加することで生涯学習施設としての図書館の利用促進を図ります。

### 【今後の方向性】

現在、実施しております「絵本作家による絵本講演会」や「等身大人形劇」と併せて図書館を舞台とした新たな事業を行うことで、幼児から学童期まで「本とのふれあい」や「読書の楽しさ・大切さ」を理解してもらう定期的な事業として取り組んでまいります。